



第370号・平成22年2月発行

○人事異動

■人事異動

○諸 報

■創立100周年を控え記念カレンダーなどを作成

○FDコラム

■大規模科目において学生は何を期待するのかー2009
年度前期 授業改善アンケートよりー

○主要日誌

■平成22年1月主要日誌

○行事予定

■平成22年2月予定

人 事 異 動

総 務 課

平成 2 2 年 2 月 1 日付け発令

発令事項（新職名）	氏 名	旧職名（現職名）
【採用（非常勤職員）】 言語センター	竹 田 幸 代	

創立100周年を控え記念カレンダーなどを作成

創立100周年を来年に控え、学内外に広くPRするために、2010年版カレンダーを作成しました。本学卒業生である平山幹昌氏による絵画「地獄坂の眺め」を使用し、入学式や卒業式、創立記念日も記載しています。学内および本学駅前プラザ「ゆめぼーと」で無料配付を行ない、また希望者へは郵送でもお届けする旨を、ホームページや新聞紙上でお知らせしたところ、小樽市民や卒業生の方々から多くのお問い合わせをいただきました。100周年の年である平成23（2011）年には、記念イベントの日程を記載した記念カレンダーを作成する予定です。

また、学内の教職員や学外の皆様に広くアピールし、創立100周年を盛り上げるために、本学学生センター入口の上面に、創立100周年記念の横断幕を設置しました。

横断幕は「2011年小樽商大創立100周年」のフレーズを中心に、左に学章、右に100周年ロゴ・マークをあしらったデザインとなっています。

(総務課)



(創立100周年記念カレンダー)



(創立100周年記念横断幕)

大規模科目において学生は何を期待するのか－2009年度前期 授業改善アンケートより－

教育開発センター助教 辻 義人

これまでの授業改善のためのアンケート結果より、学生の履修人数が増えるほど、その科目のアンケート評価値が低下しやすいことがわかっている。ここで、現時点における最新データ（2009年度前期）を用いた、履修者数とアンケート評価値との関連の検討を行った。科目履修者数の多少によって、アンケート評価値はどのように異なるのだろうか？特に、履修者数が多い科目において、学生は何を求めているのだろうか？

今回の分析では、2009年前期に実施した「授業改善のためのアンケート」の結果を用いた。調査対象は、アンケートを実施・回収した180科目であった。科目ごとの平均回答数は45.5件であった（最大=271件、最小=3件）。各項目の評価値の平均値などを以下に示す（表1）。

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	回答数
平均値	4.05	4.02	4.04	4.00	4.04	3.92	4.16	45.50
SD	0.36	0.49	0.49	0.45	0.48	0.43	0.43	43.51
最大値	4.88	5.00	5.00	5.00	4.94	5.00	4.88	271
最小値	2.70	2.75	2.60	2.60	2.40	2.00	1.60	3

調査対象：2009年前期に開講された180科目

表1 2009年前期：授業改善のためのアンケート集計結果

次に、各科目から得られたアンケート回答数に基づき、開講科目を小・中・大規模の3つに分類した。小規模科目は0～49人の129科目、中規模科目は50～99人の28科目、大規模科目は100人以上の23科目であった。各規模のアンケート評価値を、以下に示す（表2、図1）。

	事前情報（シラバス）	理解を促す工夫	説明や指示内容	教材や資料	学生への適切な対応	私語・遅刻者の対応	学習環境
小規模科目	4.06	4.07	4.08	3.84	4.09	4.00	4.24
中規模科目	3.97	3.84	3.93	3.76	3.95	3.79	4.04
大規模科目	4.10	3.92	3.97	3.98	3.85	3.61	3.81
全平均	4.05	4.02	4.04	4.00	4.04	3.92	4.16

表2 科目規模別のアンケート評価値

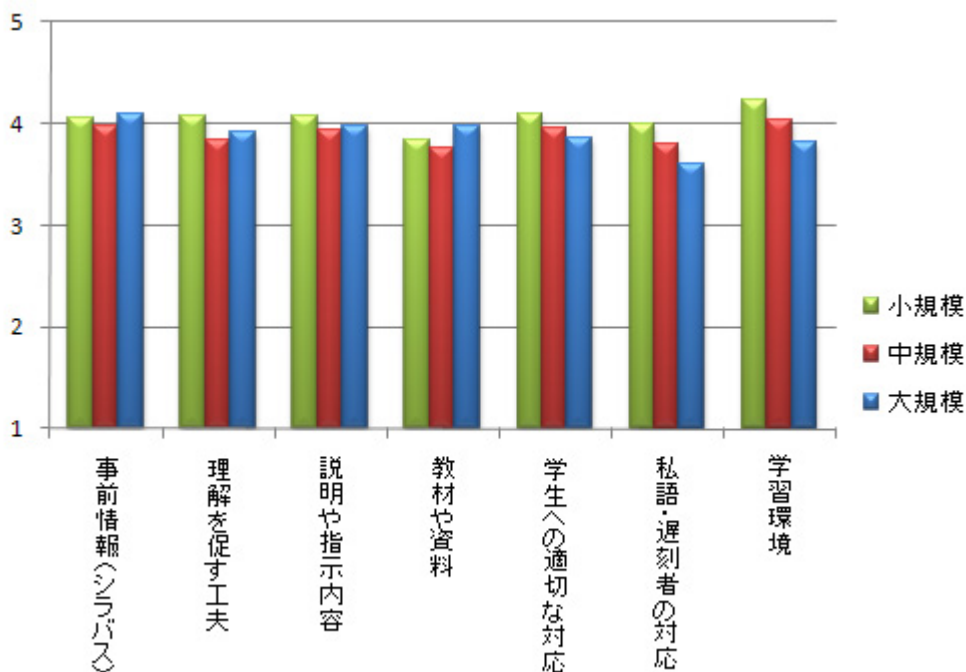


図1 科目規模別のアンケート評定値

この集計結果より、主に以下の3点の結果が読み取れる。

- (1) 全ての規模、項目において、概ね4（やや満足）に近い評価が得られた。
- (2) 項目1～4（事前情報・理解を促す工夫・説明や指示内容・教材や資料）では、科目規模間によって、さほどの評定値の変化は見られない。
- (3) 項目5～7（学生への対応・私語や遅刻者への対応・学習環境）については、科目規模が大きいほど、評価が低くなる傾向がある。

ここで、項目1～4は授業理解度に関する項目群、項目5～7は授業満足度に関する項目群と位置づけられる。

授業の理解度と満足度に関連して、授業評価に関する先行研究では、学生は「理解できたから満足する」ことが知られている。逆に、「満足できたから理解する」ことはありえない。本分析の結果は、大規模科目において「理解できたが満足できない」科目が生じている可能性を示している。

大規模科目には、小・中規模には見られない特有の問題が多いことが予想される。例えば、座れる座席がない。黒板やスクリーンが遠くて資料が読めない。周囲がうるさくて講師の発言が聞こえない。わからなくても質問できない。私語や遅刻者が多く集中できない。他にも、多様な問題があるだろう。

では、このような大規模科目の問題に対して、どのような対処が必要であろうか。上述のように、大規模科目には多様な問題があるため、全ての問題を一度に解決することは不可能である。そのため、一つ一つの問題に、個別に対処する姿勢が必要となる。

例えば、大規模科目で学生が質問できない点について、ミニットペーパーやシャトルペーパーなどを用いた意見や感想の収集が効果的であろう（シャトルペーパーの実践事例は、FDコラムNo.18に掲載）。この方法は、学生の理解度を簡単に調査できる点においても有効である。

また、私語や遅刻者による授業への悪影響については、毅然とした対応が求められる。今回は数値データのみを分析対象としているが、大規模科目における自由記述では、私語や遅刻者に関する意見が多数寄せられている。それらのほとんどは、教員に対して厳しい注意を望むものである。

これらのことから、今回の分析結果を簡単にまとめると、以下の通りとなる。

- (1) 学生は、アンケート項目における測定項目の全般について、概ね満足している。
- (2) 授業理解度については、科目規模の大小に関わらず、さほどの違いは見られない。一方、授業満足度については、大規模科目ほど評価が低下する傾向がある。
- (3) 大規模科目の問題に対して、個別の取組み（教員と学生の意見交換、私語や遅刻者への適切な対応など）が求められている。

大規模科目の問題を解決することは容易ではない。しかし、現在、多くの大学や教育

機関における授業改善の取組みが報告されており、参考となりうる取組みも見受けられる。今後、FDコラムでは、それらの取組みを紹介するとともに、学内での取組みにも注目・紹介したい。

(追記)

本分析の対象は、各科目の回答者数であり、履修者数ではない。今後、各科目におけるアンケートの回収率と関連した、より詳細な検討が必要である。

このコラムに関するご意見があれば[教育開発センター](#)までお知らせください。

主要日誌

平成22年1月

4	月	<p>仕事始め</p> <p>アントレプレナーシップ専攻後期入学試験出願期間（～14日）</p> <p>15:30～課長・室長会（局長室）</p>
6	水	<p>13:30～入学試験委員会（第2）</p> <p>14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p>
7	木	<p>現代商学専攻博士前期・後期課程入学試験出願締切</p> <p>10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p>
8	金	<p>10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p> <p>13:30～大学入試センター試験業要領説明会（第1）</p>
9	土	<p>10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p>
12	火	<p>10:00～目標計画委員会（第2）</p> <p>12:10～大学入試センター試験監督要領説明会、リスニングテスト予行演習（第1）</p> <p>13:10～財務委員会(第2)</p>
13	水	<p>10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第1）</p> <p>14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p> <p>14:30～学部・大学院合同教授会（第1）</p> <p>15:38～学部教授会（第1）</p> <p>16:13～現代商学専攻会議（第1）</p> <p>16:41～教育研究評議会（第1）</p> <p>17:00～大学院博士後期課程専任教員会議（第2）</p> <p>終了後～博士後期課程入試担当者会議（第2）</p>
		<p>10:30～現代商学専攻入学試験委員会（第2）</p>

14	木	17:30～緑丘企業等企画講座「面接対策」(210講義室ほか) 昼間コース推薦入試、私費外国人留学生入試等特別選抜出願期間(～21日)
15	金	10:30～専門職大学院教育開発部門会議(研究棟A)
16	土	大学入試センター試験(～17日)
18	月	13:00～役員会(学長室)
19	火	13:00～教員業績評価委員会(第2)
20	水	10:00～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会(第2) 10:30～アントレプレナーシップ専攻会議(第1) 14:30～緑丘企業等セミナー(211講義室ほか)
23	土	10:00～緑丘企業等セミナー(211講義室ほか)
25	月	一般入試(前期・後期日程)、専門高校・総合学科卒業生入学試験出願期間(～2月3日) 13:00～役員会(学長室)
27	水	9:00～入学試験委員会(第2) 10:30～衛生委員会(総務・財務担当副学長室) 14:30～緑丘企業等セミナー(211講義室ほか) 14:30～図書館運営委員会(図書館会議室)
30	土	9:30～現代商学専攻博士前期課程後期入学試験(予定) 10:00～緑丘企業等セミナー(211講義室ほか)
31	日	10:00～現代商学専攻博士後期課程入学試験 アントレプレナーシップ専攻後期入学試験

行事予定表（2月）

1	月	
2	火	10:30～渡辺教授退職記念最終講義（160講義室）
3	水	14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか） 17:45～田野教授退職記念最終講義（104講義室）
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	14:30～教授会等（第1） 17:00 昼間コース（推薦入学）合格発表
9	火	
10	水	10:00～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会（第2） 10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第1）
11	木	昼間コース特別選抜（帰国子女，中国引揚者等，私費外国人留学生）入学試験
12	金	10:00大学院商学研究科合格発表
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第1） 14:30～教授会等（第1）

		入学試験委員会（場所、時間未定）
18	木	10:00昼間コース特別選抜（帰国子女，中国引揚者等，私費外国人留学生）合格発表
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	13:00～役員会（学長室）
23	火	
24	水	
25	木	前期日程入学試験
26	金	
27	土	
28	日	